

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立宍道中学校)

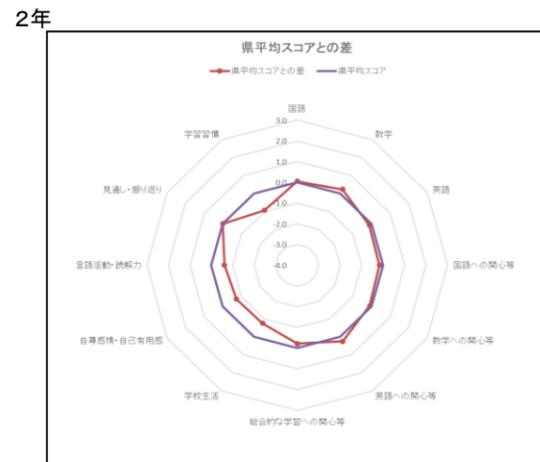
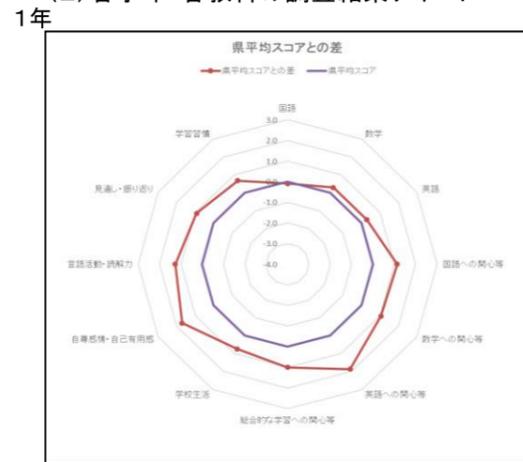
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○「伝統的な言語文化と国語の特質」の領域のうち「単語の分類」「歴史的仮名遣い」については県平均を上回っている。 ●「読むこと」の領域のうち、「文学的文章の展開について自分の考えをまとめる」という設問で、無回答率が高い。	・図書館を活用したり、授業でおすすめの本を紹介したりして、文学的文章を読み味わう楽しさを体験させる。 ・様々な文章の展開に注目して読み、考える活動を増やす。 ・自分の考えを文章にまとめるトレーニングを継続的に行う。
	数学	○数と式、関数の領域における知識・理解力は定着している。 ●資料やグラフを読み取り、その傾向をつかんだり、ある範囲の人数や割合などを求める力が不足している。 ●式に表されている数量の関係を説明する力が不足している。	・基礎基本の定着を図る。(小テスト、単元末テスト) ・教材の工夫。(操作活動ができる教具、ICT機器の活用) ・小グループで自分の考えを説明する機会を増やし、数学的な表現を用いて説明する活動を充実する。
	英語	○簡単な対話のやり取りや、短い英文の内容を読み取る力は比較的高い。 ●比較的長い英文を読んで概要を掴む力が不足している。 ●条件作文の問題内容を理解する力、問われている質問に適切な英文で答える力が不足している。	・まとまった英文から概要を読み取ったり、問われている答えを見つけ出す活動を適宜取り入れる。 ・英語の質問に対して、自分の考えを言ったり書いたりする活動を実施することで、表現力の定着を図る。
2年	国語	○小学校配当漢字の読み書きはおおむね定着している。 ○品詞の識別等、学習して間もない内容については正答率が高い。 ●知識や体験と関連づけて自分の考えを書く設問において、正答率が低く、無回答率が高い。	・中学校配当漢字についても、定着するよう、繰り返し練習する機会を設ける。 ・日常の授業のなかで、自分の考えを書く練習をさらに増やしていくようにする。
	数学	○数量や図形などについての知識・理解が概ね定着している。 ●関数領域で、日常の事象を関数として捉える力が不足している。 ●数学的な見方や考え方をを使って説明する問題で、無回答率が高い。	・日常の事象をグラフで表し、グラフから読み取れることを指導していく。 ・計算力を高めるため、年間を通して計算プリントの課題を出す。
	英語	○簡単な対話のやり取りや、短い英文の内容を問われる問題の解答を選択肢から選ぶ問題の正答率は比較的高い。 ●まとまった英文を聴いて概要を掴む力が不足している。 ●対話文のやり取りの中で、問われている質問に適切な英文で答える力が不足している。	・教科書の本文やまとまった英文の概要を読み取ったり、問われている答えを見つけ出し活動に適宜取り入れる。 ・一問一答ではなく、少し長い対話文のやり取りの中で、適する応答文を書く活動を取り入れ、表現力を高める。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○小学校時から継続して、授業で自分の考えを良く発表する機会を多く持ち、表現力を磨いている。 ●小学校時に比べてグループ等での調べ学習の機会が減り、主体的に学習する活動が若干少ない。	・生徒の主体的な学びの時間を確保し、発言力、表現力をさらに伸ばしていく取組を継続する。 ・新指導要領のねらいに沿って、「主体的・対話的で深い学び」に向かう取組を実践する。
	家庭学習に関わる事項	○携帯電話、スマホの利用時間は全体として少ないが、一部にかなり長時間にわたって使用する生徒もいる。 ○宿題等について教員が丁寧にみていると感じている。 ●計画を立てて家庭学習を取り組む習慣がなされている生徒が少なく、また読書の時間も不足している。	・保護者との連携を深めるとともに、情報機器の適切な使用の力を高める取組を継続的に実施する。 ・家庭学習について、「与える」部分と「自ら行う」部分のバランスを取りながら、生徒の取組を丁寧にチェックし、支援を継続する。
2年	授業改善に関わる事項	○学校図書館などを利用した調べ学習などがよく行われている。 ●授業で話し合う活動が他校に比べると不足している。	・全員に役割を持たせ、活躍の場を確保することによって学習に対する意欲を高める。 ・発問を精選し、考えを深める課題解決学習に取り組む。
	家庭学習に関わる事項	○携帯電話、スマホの利用時間が少ない。 ●家庭学習の習慣化がなされていない家庭学習が非常に不足し復習が十分にされていない。	・学習することの意義を繰り返し語り、学習意欲の向上をはかる。 ・効果的な家庭学習の方法について指導し、生徒同士にも学習方法を交流させ、自分にあった学習方法について考えさせる。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	66	54	60
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	78	43	51
	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

受検者数
1年生 56人

受検者数
2年生 72人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

